

# 令和3年度 学校評価報告書

4段階評価【4…期待以上 3…ほぼ期待通り 2…やや期待を下回る 1…改善を要する】

評価項目	評価指標	自己評価		外部評価	学校運営協議会委員のコメント	改善法策等		
		項目別	総合					
やさしく 豊かな心の育成	1 人間関係において肯定的な自己評価をする児童の割合 90%以上	3	3	○ 多くの児童が、学校は楽しい・友達と仲良く過ごしていると答えており、達成できている。児童一人一人の声に先生方が耳を傾け、対応している成果と思われる。 ● 学年が上がるにつれて、数値が下がっている。今後も丁寧な対応をしていくとともに、自力解決できるように、更に継続的な指導が必要である。		○ 石山小の子ども達は、仲が良く優しい子ばかりだと思います。学年が上がるにつれて、思春期に近づいているために数値が下がっているのかもしれません。 ○ 心が元気なことが勉強もスポーツも、何をする上でも大切なことです。先生方の対応の成果が素晴らしいです。今後とも、子ども達に寄り添う丁寧な対応に期待します。	○ 月毎のいじめ・悩み調査を継続して行い、いじめ等の早期解決を図るとともに、「さくら委員会」において、気になる児童について、全職員で共通理解を図っている。必要に応じて家庭との連携を図っていく。 ○ 朝の時間に、教育相談の時間を設け、児童一人一人と話す機会を今後も大切にしていく。	
	2 基本的生活習慣(あいさつ・言葉遣い等)に係る肯定的な自己評価をする児童の割合 90%以上			○ 言葉遣いや掃除など多くの項目で、達成できている。 ● 挨拶や廊下歩行については、学年が上がるにつれて、4を選ぶ児童の割合が減っている。教師の評価とも対応しており、自己評価が正しくできているとも捉えられるが、達成できるよう手立てが必要である。特に、挨拶については学校外での挨拶について、指導が必要である。		○ 掃除や挨拶など石山の子ども達はよくできていると思う。保育園の頃から身につくように今後も掃除やあいさつができるように取り組んでいきたい。 ○ 集団登校時の挨拶は、年度初めの頃より挨拶する児童が増えています。普段、遊んでいる時は、こちらから声をかけなければ挨拶してくれます。臨機応変な挨拶はなかなか難しいですね。 ○ 登校時は、ほとんどの児童が大きな声であいさつするが、中には頭だけ下げる子、声のちいさな子がいる。個人での挨拶になると、こちらから挨拶しなければなかなかしない。 ○ 見守り活動の様子では、みんなあいさつはよくできている。声の大きさ、明るさはグループリーダーによって差が大きい。 ○ 立当番をしていて、元気の良い挨拶をしてくれる班と小声で元気のない班があり、我が子の班が元気のない班だったのがショックでした。毎日見守りをしてくださる見守り隊の方々、当番の保護者の方々へ感謝の気持ちを込めて、挨拶をするよう、伝えましたが、、、。しっかりできているのか気になります。 ○ 班長の元気な班はよく挨拶をします。班長の育成を望みます。	○ 集団登校時だけでなく、下校時や休日などでも、地域の方に進んで挨拶ができるように、家庭との連携を図りながら指導を継続していく。 ○ 月目標を通して、一つ一つのきまりの必要性を押さえながら、継続的に指導をしていく。	